

# 漁海況月報

No. 12

平成 16 年 12 月 1 日

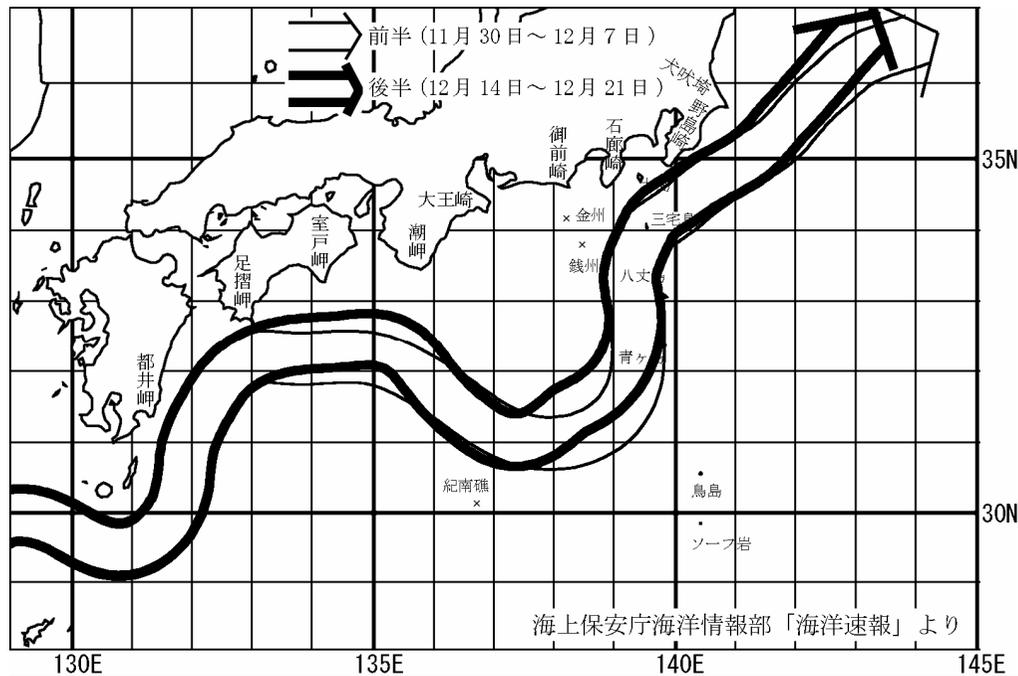
～12 月 31 日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



2004 年 12 月

定地水温の旬平均値 ( )

(下段は偏差)

| 期 間 | 伊東   | 稲取   | 下田   | 雲見   | 沼津   | 焼津   | 地頭方  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 上 旬 | 18.6 | 19.4 | 18.5 | 19.9 | 17.7 | 19.6 | 15.9 |
|     | 1.2  | 1.4  | 1.2  | 1.9  | 0.1  | 2.8  | 0.2  |
| 中 旬 | 18.1 | 19.2 | 19.0 | 19.5 | 19.9 | 18.8 | 15.5 |
|     | 1.5  | 2.1  | 2.6  | 2.6  | 3.3  | 2.8  | 0.9  |
| 下 旬 | 18.0 | 18.6 | 18.4 | 18.0 | 19.8 | 18.3 | 13.9 |
|     | 2.3  | 2.2  | 2.7  | 2.1  | 4.2  | 3.4  | 0.2  |
| 月平均 | 18.2 | 19.1 | 18.7 | 19.1 | 18.9 | 18.9 | 15.1 |
|     | 1.7  | 2.0  | 2.2  | 2.2  | 2.3  | 3.0  | 0.5  |

## [黒潮流路]

黒潮は、月を通じて A 型流路で伊豆諸島の西側を北上、三宅島付近を通過し、房総半島に接岸して流れていた。伊豆半島南端には黒潮系の暖水が月を通じて波及していた。

## [県下沿岸域]

定地水温は、相模湾側で 17～19 台、駿河湾東部では 17～19 台、駿河湾西部では 13～20 台で経過した。全ての測点で平年を 1～3 上回る水温を観測した。

## [竿釣近海カツオ]

12 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は 32 トンで前年同期の 185% であった。魚価は 749 円/kg で、前年同期を大幅に上回った。

中型竿釣船の記録 (QRV) 及び御前崎市場での調査によれば、12 月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

33°～35°N、139°～141°E で漁場が形成され、大、中、特々大、特大、小、極小、チンカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

| 期 間         | 水揚量 (トン) | 水揚 隻数 | 水揚量 / 隻 (トン) | 平均単価 (円/kg) |
|-------------|----------|-------|--------------|-------------|
| 16 年 12 月上旬 | 15       | 9     | 1.7          | 761         |
|             | 14       | 5     | 2.8          | 690         |
|             | 3        | 2     | 1.4          | 975         |
| 16 年 12 月計  | 32       | 16    | 2.0          | 749         |
| 15 年 12 月計  | 17       | 6     | 2.9          | 374         |
| 14 年 12 月計  | 5        | 1     | 4.9          | 161         |

## [サクラエビ船曳網]

平成 16 年秋漁は 12 月 24 日が最終出漁日となり、出漁日数は 17 日、漁獲量は 301 トンであった。12 月の出漁日数は 7 日で、漁獲量は 133 トン、漁場は主に大井川から相良沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、31mm にモードを持つ当歳エビが主体であった。

サクラエビ水揚量

| 期 間            | 水揚量 (トン) | 日数 | 1 日 1 か統当り (kg) | 漁 場                          |
|----------------|----------|----|-----------------|------------------------------|
| 平成 16 年 12 月   | 86       | 4  | 平均 360          | 大井川～相良沖<br>大井川～相良沖<br>焼津～榛原沖 |
|                | 34       | 2  | 平均 285          |                              |
|                | 12       | 1  | 平均 200          |                              |
| 平成 16 年 12 月 計 | 133      | 7  | 平均 316          | -                            |
| 平成 15 年 12 月 計 | 282      | 8  | 平均 588          | 用宗～大井川沖                      |
| 平成 14 年 12 月 計 | 309      | 8  | 平均 644          | 三保～大井川沖                      |

**[サバたもすくい棒受網]**

1隻当りの漁獲量は昨年同期の3倍の34.1トンで、漁獲量では昨年同期の4倍の647トンと好漁であった。漁獲物は2004年生まれのコマサバが主体で、その大きさは概ね25cm以下であったために1kg当たりの平均単価は20～50円と極めて安かった。

小川港 サバ類(棒受網漁業)水揚量

| 期 間      | 水揚量<br>(トン) | 日数 | 延隻数 | 1隻当り<br>(トン) | 漁 場       |
|----------|-------------|----|-----|--------------|-----------|
| 平成16年 上旬 | 232         | 2  | 7   | 33.2         | 三宅、新島     |
| 12月 中旬   | 228         | 2  | 6   | 38.0         | 三宅        |
| 下旬       | 187         | 2  | 6   | 31.2         | 三宅、新島     |
| 計        | 647         | 6  | 19  | 34.1         | - - - - - |
| 平成15年12月 | 162         | 3  | 15  | 10.8         | 三宅        |
| 平成14年12月 | 492         | 9  | 32  | 15.4         | 三宅、大島     |

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で57kg、遠州灘で74kgだった。主要6港平均では65kgと前年同期(93kg)の69%、平年同期(過去5か年平均:96kg)の67%であった。12月の総水揚量は71.7トンと、前年同期(80.7トン)の89%、平年同期(80.4トン)の89%に当り、低調であった。平均単価は1,850円/kgと前月並みで、平年同期(940円/kg)を大きく上回った。

シラス水揚量(主要6港)

| 漁 港       | 水揚量<br>(トン) | 日数 | 延統数   | 平均漁獲量<br>(kg/統・日) | 平均単価<br>(円/kg) |
|-----------|-------------|----|-------|-------------------|----------------|
| 新 居       | 3.3         | 9  | 57    | 59                | 2,117          |
| 舞 阪       | 7.4         | 9  | 102   | 73                | 1,721          |
| 福 田       | 14.7        | 9  | 204   | 72                | 1,572          |
| 御前崎       | 11.7        | 13 | 142   | 83                | 1,725          |
| 吉 田       | 20.2        | 14 | 338   | 60                | 1,798          |
| 静 岡       | 14.4        | 12 | 264   | 55                | 2,312          |
| 平成16年12月計 | 71.7        | -  | 1,107 | 65                | 1,850          |
| 平成15年12月計 | 80.7        | -  | 863   | 93                | 911            |
| 平成14年12月計 | 126.4       | -  | 843   | 150               | 722            |

**[まき網]**

小川港では、マイワシは23.4トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:438.0トン)の5%と低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

沼津港では、マイワシは491.4トン水揚され、平年同期(61.3トン)の14%と低調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは0.3トン水揚され、平年同期(35.2トン)の1%と低調であった。カタク

チイワシは水揚されなかった。

伊東港では、マイワシは10kg水揚され、カタクチイワシは水揚されなかった。

**[定置網]**

平成16年12月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は216トンであった。1漁場当たり水揚量27.0トンは、前年16.3トンの1.7倍、平年値(昭和57～平成15年平均値)35.2トンの77%であった。

魚種別にみると、サンマ115トン(前年の6.0倍、平年の2.2倍) マアジ36.7トン(前年の2.8倍、平年の2.4倍) サバ類17.9トン(前年の1.0倍、平年の1.7倍) スルメイカ9.8トン(前年の1.3倍、平年の43%) ウスバハギ6.9トン(前年の2.5倍)の順に多かった。

サンマは北川、川奈及び谷津を中心に入網し、3漁場を合わせるとサンマ全漁獲量の84%を占め、肉体長の中心は26～32cmであった。マアジは伊豆山及び川奈を中心に入網し、過去10年で最も水揚量が多く、尾叉長のモードは18～19cmであった。サバ類は川奈及び北川を中心としてコマサバ主体で入網し、コマサバの尾叉長の中心は24～27cm及び30～34cmであった。スルメイカは北川及び富戸を中心に入網し、外套背長の中心は23～28cmであった。ウスバハギは富戸及び赤石を中心に入網し、全長の中心は41～46cmであった。

漁場別水揚量は、サンマの漁獲が多かった北川(56.9トン)、サンマ及びマアジの漁獲が多かった川奈(50.4トン)、サンマの漁獲が多かった谷津(35.3トン)の順であった。

**[調査船の動向]**

富 士 丸

～12月4日 南方カツオ調査(4日間)

駿 河 丸

12月1～3日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

12月7～8日 地先定線観測(遠州灘・伊豆)(2日間)

12月13日 駿河湾内にて公共用水域水質調査(1日間)

12月15～16日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査(2日間)

12月20～21日 波勝崎沖にてマリンロボ調査、久能沖にてトラフグ試験操業(2日間)